

ストップ・ザ・地球温暖化！

～家庭でできる省エネ生活～

東日本大震災以降、電力需給の心配から全国的に省エネが呼びかけられており、先月号では冬期間に多くの灯油や電力を消費する暖房の省エネポイントをご紹介しました。

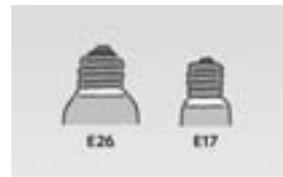
今月号は、手軽に節電できる器具として近年脚光を浴びているLED電球についてご紹介します。

LED電球で節電！～買ってがっかりしないための賢い選びかた～

LED電球は白熱電球に比べ消費電力が約8分の1、寿命が約40倍もあり、白熱電球から取替をするだけで簡単に節電をすることができます。そこで今回は、皆さんが満足のいく形でLED電球を購入できるように、選びかたのポイントをご紹介します。

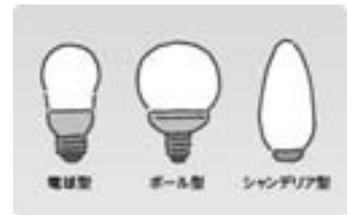
口金（取り付け口に差し込む部分）の大きさを確認！

電球の口金は、一般的に「E26(26mm)」と「E17(17mm)」の2種類の大きさがあるので、取り付け口の大きさを確認しましょう。



電球の形を確認！

電球の形には様々なものがあります。取り付ける場所の深さや大きさによってはLED電球が入らなかつたり飛び出してしまうこともあるので、場所の大きさを確認しましょう。



明るさを確認！

LED電球の明るさは、従来の「形」ではなく「ルーメン(lm)」という単位で表します。ルーメンは外箱に必ず表示されているので、数字をよく確認してから購入しましょう。

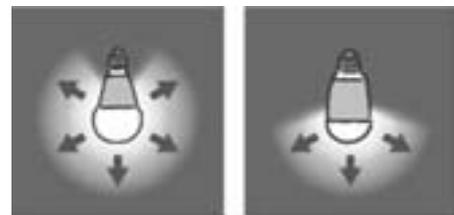
日本電球工業会では、全体を照らす電球の明るさの基準として、以下のように推奨数字を発表しています。

LED電球の明るさ推奨数字

白熱電球	40ワット相当	60ワット相当	100ワット相当
LED電球口金E26	485 lm以上	810 lm以上	1520 lm以上
LED電球口金E17	440 lm以上	760 lm以上	1430 lm以上

光の広がりかたを確認！

LED電球の光の広がりかたには、白熱電球と同様の全配光・全方向タイプと、光が下方に広がる直下タイプの2種類があります。白熱電球からの取替で違和感を感じないようにしたい場合は「全配光」や「全方向」の表示があるものを選びましょう。



全配光・全方向

直下タイプ

光の色を確認！

光の色には昼白色・昼光色・白色 と表示のある白っぽい光と、電球色と表示のあるオレンジ色の光がありますので、好みや用途によって上手に使い分けをしましょう。

町民一人ひとりの節電の努力が、温室効果ガス削減を通して地球温暖化防止につながります。みんなで協力しあい、環境にやさしいまちづくりを目指しましょう。

参考 環境省特設サイト「チャレンジ25キャンペーン」：<http://www.challenge25.go.jp/>